

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	日本・OECD事業協力信託基金拠出金		担当部局庁	大臣官房国際課		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成9年度		担当課室	国際課		国際課長 池原 充洋		
会計区分	一般会計		施策名	XⅢ-2 国際協力の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	OECDにおける「生徒の学習到達度調査(PISA)」及び「OECD国際教育インディケータ(INES)事業」など教育分野の事業活動に参加し、我が国の教育政策上重要な課題の調査・研究を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「生徒の学習到達度調査(PISA)」及び「OECD国際教育インディケータ(INES)事業」を行うために各国に求められる資金を拠出する。PISAは、義務教育修了段階の15歳の生徒の読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーを主要3分野として調査を実施するもの。INESは、世界各国の教育制度や政策について共通の枠組みの中で比較対照する指標(インディケータ)を開発し、各国の教育政策の形成に役立てるものである。(OECDに対する拠出。分担率は、各国の過去3年間のGNPを基に算出。)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	135	109	108	97	94	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	0	0	0	0		
	執行額	135	109	108	97	94		
	執行率(%)	100	100	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	OECDのPISA事業、INES事業への拠出金であるため、成果を定量的な数値で示すことになじまない。				-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	OECDのPISA事業、INES事業への拠出金であるため、活動指標を定量的な数値で示すことになじまない。				-	-	-	-
				-	-	(-)	(-)	
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	拠出金	97百万円	94百万円					
	計	97百万円	94百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>従前より、予算を効率的に執行するよう我が国からOECD事務局に要請している。今後も、OECD事務局が予算を効率的に執行し、より透明性の高い予算執行となるよう、要請していく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、OECDにおける教育分野の事業活動に参加する際にOECDから求められる拠出金を支出するものであり、今回、長期継続事業の観点から評価を行った。</p> <p>2. 所見：参加国の過去3年間のGNPを基に算出された分担率に基づく、PISAやINESの事業に参加するために必要な事業であることから、現行において特段の見直す点は認められず、現在の事業内容を引き続き維持すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

日本・OECD事業協力信託基金拠出金

文部科学省
108百万円

【拠出金】

A.経済協力開発機構
(OECD): 108百万円

「OECD教育インディケータ事業
(INES)」及び「生徒の学習到達度
調査(PISA)」に参加するための拠
出金

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. 経済協力開発機構(OECD)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	「OECD教育インディケータ事業 (INES)」及び「生徒の学習到達度 調査(PISA)」の事業運営に必要な 経費	108			
計		108	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	経済協力開発機構(OECD)	「OECD教育インディケータ事業(INES)」及び「生徒の学習到達度調査(PISA)」に参加するための拠出金	108-	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					